

第54期 第1回

開催年月日 令和5年8月1日

開催場所 高知労働局 別館会議室(301)

出席委員数	議題	1	高知県最低賃金改正審議に関する意見聴取
公益代表	5名	2	その他
労働者代表	5名		
使用者代表	5名		

[開会] 午前9時00分

会長 ただ今から、高知地方最低賃金審議会委員による全員協議会を開催します。

まず、本日の会議の定足数について事務局から報告をお願いします。

賃金室長 本日は委員15名のうち、15名の委員のご出席をいただいておりますので、最低賃金審議会令第5条第2項に定める定足数を満たしておりますので、本審議会が有効に成立していることをご報告いたします。

会長 それでは、本日の全員協議会は、高知県最低賃金の改正審議に当たって、最低賃金法第25条第5項に基づく「関係労働者及び関係使用者の意見を聴く旨」の公示が7月3日に行われたところ、高知県労働組合連合会筒井(つつい・けいじ)敬二執行委員長から、7月18日付けで本審議会における意見陳述の申し出がありました。

陳述人は中村颯良(なかむら・そら)様、高知県労働組合連合会書記長の牧耕生(まき・こうせい)様の2名の方から意見陳述を受ける予定となっております。

大変申し訳ありませんが、陳述の時間は2名合わせて30分以内となっておりますので、厳守をお願いします。

その後、陳述に対する質問の時間として、10分程度の時間を予定しております。

それでは、中村颯良(なかむら・そら)様から意見の陳述をお願いしたいと思います。どうぞ。

中村陳述人

高知大学の中村颯良と申します。本日はよろしくお願いたします。

資料で印刷が欠けているものがあつたので、スマートフォンを見ながらになります。私から大学生から見た高知県の最低賃金についてお話しします。

私は東京出身で大学進学を機に高知大学近くのアパートに住み始めました。高知での暮らしは3年目になります。

本日は、自身の東京と高知でのアルバイト経験を基に、お話をさせていただきます。まず、私の現在の生活について詳しくお話しさせていただきます。

私が住んでいるアパートは、大学近くの朝倉にあり、家賃が大体4万円程度です。電気代は6,000円、ガス代4,000円、水道代は3,000円程度です。

通信費が大体11,000円くらいかかって、内訳はスマートフォンが7,000円、Wi-Fiが4,000円程度かかります。

学費は年額53万円で、奨学金は利用していません。

ここまでの全部の固定費は、両親が支払ってくれています。

その他に食品・日用品購入費、交際費、教育費、サークル費、移動費などがかかります。それらを合わせた金額の合計が直近3か月間の平均だと11万円でした。食費は、基本自炊していて少ないのですが、よさこいサークルに所属していて、その幹部として活動するサークル費が月に3万円ほどかかってしまっていて、生活費がちょっと高くなっている部分があると思います。固定費の支払いとは別に、仕送りを7万円もらっていて、それを先ほどの費用に充てています。

大学入学当初の仕送りは、毎月2万円で食費という名目で送ってくれていましたが、2万円では、自炊してもギリギリでした。食費以外は自分で出すというのがもとの話でした。増額した理由については、後で述べさせていただきます。

単純計算で自分の高知県での生活は1ヶ月218,000円で、1年間261万円かかっていることになります。家計簿調査との違いは、自分は学費があることと、サークル費の活動という違うお金がかかっているところです。

現在、アルバイトを2つ掛け持ちしていて、朝倉の居酒屋と同じく朝倉のパチンコ店に勤務しています。週4日から5日働いていて、月の収入が7万円です。本来なら留学に行くためにお金を貯めたいと思っていたのですが、現状、あまり貯金は増やせていません。

次に、東京でのアルバイト経験についてお話しさせていただきます。東京でのアルバイト経験は、高校時代であまり長期間は働いていません。

1つ目が、渋谷の高級路線の飲食店でした。立地と、お店の方針もあって、当時の東京の中でも高く1,250円でした。仕事内容は、ドリンク・

料理運び、詳しい料理の説明等でした。また、ウーバーイーツの配達員もしていました。

当時、コロナ禍で外出を自粛していたため、多くの注文がありました。1週間で10万円稼いだ週もありました。朝から夜まで1日働けば15,000円は稼げるというような感じでした。

次に、高知での具体的なアルバイトを通してした経験についてお話しします。

私が高知に来て最初にしたアルバイトは居酒屋でのアルバイトでした。

サークルの先輩に、紹介していただいて働くようになりました。サークルの先輩に紹介していただく時に賃金について質問したのですが、ちょっとはぐらかされてしまって、あまり賃金について知らずに働き始めることになりました。大体800円ぐらいかなとお話を聞いて想像していたんですが、実際店長さんと面接する時に、自分の賃金が780円で、しかも研修期間の50時間は750円と聞かされて、東京都でのアルバイト経験もあり、金額の余りの安さに驚きました。誘っていただいた先輩や店長の人の良さにより継続的に働いていますが、お金目的ではなく、人付き合いで、本当にお小遣い稼ぎ程度にしかありません。

仕事の内容は、ドリンクや食べ物を運んだり、仕事を覚えていくについて少しずつ難しい仕事、ドリンクを作ったり、料理を作ったりも任せられるようになりました。仕事の内容として、東京でバイトをしていた時よりも簡単ということはなく、むしろ、この居酒屋での仕事のほうが忙しくて大変でした。

現在も同じ店舗で働き続けていて、3年目になります。現在の賃金は最低賃金の変化や店長からオーナーへの働きかけなどもあり、かなり上がって900円になっています。

働き始めた当時は、賃金が低いただけではなく、コロナ禍によって客足が少なかったことによって、アルバイトの時間自体も少なく、月の給料が3,000円ということもあたりしました。その後も、半年ぐらいは1ヶ月の給料は1万円以内という状況でした。生活の足しにはならず、結構自分の貯金を切り崩してという生活を送っていました。そのために稼げるバイトも掛け持ちをしなければいけないと思い、東京でしていたウーバーイーツを高知でも始めました。ウーバーイーツは、注文があればいくらでも稼げるのですが、反対に注文がないと1円も稼げません。

時給換算で最低賃金を割ってしまうことが結構多く、稼げて1日1万円程度でした。東京での仕事と全く同じ仕事内容で、得られる金額が大幅に違い、収入が安定しないこともあって継続しませんでした。

他にも、友人から稼ぎやすいと聞いて、人材派遣系の仕事もしました。

その稼げると言われたアルバイトでも時給は900円でした。2年前の高知県の水準では割と高いほうで、高知でのアルバイトに慣れてきた自分からすると、割のいいバイトのように思ってしまいました。しかし、東京に帰省して地元の友達と会話をすると賃金は1,200円が普通で、低くても1,100円、高い場合だと1,300円もあったりするなどを聞くと、900円で喜んでいる自分が、ちょっとバカのように思ってしまいました。

また、東京でのアルバイトも高知のアルバイトも内容的には違いはなく、物価の違いもほとんどないために、賃金の差があることに納得できない気持ちになりました。長時間働いて稼いでも生活するのにお金がかかってしまい、自分の手元に残らないなと思ってしまいました。自分のせいで両親に負担をかけてしまっている部分もあり、自らの選択で1人暮らしをしているから仕方ないという思いもありますが、お金の面で1人暮らしをするのが大変ということになってしまうと、最初から高知県に来る学生が減ってしまうのではないかと思います。

現在、東京でアルバイトをしている友人と賃金を比較してしまったり、貯金が減ってしまっていることなど理由に2年生に入った時、さらに賃金が高いバイト先を探しました。

4つ目のバイト先にはパチンコを選びました。

平日の夜間は1,100円、土日の夜間は1,300円でした。

22時以降になると、さらに、時給が200円上がります。高知県の中で、朝倉で働けるバイトとしては、かなり時給が高いほうでした。

仕事の内容としては、メダルを運ぶといった作業は少なく、清掃とパチンコ台のメンテナンスなどが主です。その清掃とメンテナンスを行う台は1人で240台です。

力仕事よりも、歩く距離が長く、つらい部分があります。

一度歩いた距離を計測したことがあるのですが、5時間の労働で5キロ歩いていて、終わった頃には足がパンパンでした。

また、接客に求められているレベルが非常に高く、短い期間でアルバイトをやめてしまう人も多いような仕事環境でした。

その、パチンコ業務も時間が経つにつれ、慣れてきたので労働時間を伸ばすようにし、1日当たりに働ける最大の時間を働いたりする日も出てきました。休憩を含めて、7時間45分ぐらい働いていた日もありました。時間も遅ければ遅いほど稼げるため、22時以降の勤務にも出るようになりました。

深夜12時半まで仕事があり、家に帰って夜ご飯を食べて就寝準備をして寝ると2時から3時になってしまう日もありました。

平日に週に2回そのような日があり、当然その日に大学の課題はできませ

ん。

居酒屋でのバイトも継続していて、週3のサークル活動もあるため、学業とのバランスを取るのが非常に難しくなっていました。

2年生の終盤に差し掛かる頃、さらにバイトを増やそうとしました。

理由としては、大学に入った頃の計画では1年生のうちに100万円、2年生のうちに200万円貯めて、留学に行きたいと思っていたからですが、実際には、大学に入った時から、貯金額がほとんど増えることはありませんでした。

また、学費も親から借りているので返さなければいけないということを考えると、貯金はほとんどゼロみたいな状況でした。

稼いでも、ほとんど生活費に消えていくという状況から焦りがあり、さらにバイトを増やしました。

平日はサークルのない日は、今までどおり深夜12時半まで働き、土日祝日は全てではないですが、午前中から夕方までパチンコ店で働き、その後居酒屋で働くという日々でした。

加えて、帯屋町付近のバーのような深夜営業の店でも働くようになりました。一番ひどい日の例でいいますと、午前から夕方までパチンコ店勤務、夕方から夜まで居酒屋勤務、深夜から朝方までバーで勤務というバイト3つ連続で勤務するようなこともやったりしていました。

そのような、無理を続けられるはずもなく、徹夜の状態で朝に自転車で帯屋町から朝倉の自宅に帰る途中に、走行中の自動車とぶつかってしまいました。

自分が眠気によって意識がなくなったのが原因でした。体には大した怪我がなかったことは不幸中の幸いでしたが、自転車が動かなくなって、結構修理費が高くてしまいました。このことを両親が、後で知り、心配してくれ、仕送りを2万円から7万円に増やしてくれました。体を危険にしてまでバイトをしないでほしいとの思いだったと思います。

また、学業面もあまり上手くいっていなかったため、学業にも力を入れてほしいとの思いも大きかったと思います。

そこで、両親に心配をかけすぎていることを自覚し、バイトを少し減らすようになりました。とはいえ、全くバイトしないという選択肢は私にはありませんでした。深夜まで働くことをやめて、週に1回、バイトもサークルもない日を作るなどの改善をしました。

その改善策の結果、学業もなんとかこなせるようになって、今に至っています。

今3年生なんですけど、7月と8月はサークルによってバイトができていない状況なので、4月から6月までは月7万円を稼いでいる状況です。

高知県で7万円を稼げることは簡単ではなく、低い賃金だから無理して稼がなければいけなかったということです。

ここまで、自分の体験談を述べてきましたが、けっして、特異な例ではないです。

自分の周りの学生でも同じような経験をしている人が多くいます。

大学近くの朝倉は、賃金が県の中でも結構低く、最低賃金に近いお店も多いです。少し離れた土佐道路のほうまで行くと、900円前半のところが多いです。900円前半でも足りないとなると、帯屋町のほうまで行ってアルバイトをしなければいけません。自転車だと30分程度かかります。

往復に1時間かかるため、ある程度長い時間働かなければ元が取れず、長時間労働になってしまったりします。

また、通勤のために原付を買う人がいますが、当然維持のためにお金がかかってしまいます。

さらにもっと高い時給を探すとすると、私と同じように夜中または深夜に営業しているお店で働くこととなります。夜間勤務やパチンコのような、人がやりたがらないようなきつい仕事をしなければまともに稼げないということなのです。

以下自分の友達がどのようにお金を稼いでいるか、自分の実際の友達の経験をいくつか例を挙げていきますと、1日の睡眠時間が2～3時間で深夜のバーでバイトをしている人。

深夜から朝までのコンビニ勤務で、完全に昼夜逆転してしまっている人。

夜遅くまでのバイトで、睡眠時間が足りず学校で頻繁に寝てしまい、留年の勧告を受けてしまった人。

女性であることを売りにするようなお店で働いている人。

1日中パチンコ店に客として入り浸ってお金を稼いで、授業に行かなくなって留年してしまう人などがいます。

これらは学生として健全な働き方でしょうか。

すべてが、最低賃金の低さが招いているとは言いきれませんが、東京では普通のアルバイトをして稼げる金額が、高知県では普通にアルバイトをしては稼げません。

東京で普通に稼げる金額を稼ぐために、無理をして働いている人がいるというのは紛れもない事実です。

無理をしなければ東京都と同じように稼げない高知県ならば、わざわざ他県から高知県まで大学進学に来るのでしょうか。

高知大学に来て、高知県に就職する人も一定数いると思いますが、大学時代にお金の面で苦しい思いをした人が、なぜわざわざ高知県に残るのでしょうか。

アルバイトだけではなく、正規雇用として高知県で働く人も減るのは当然だと思います。

私が留学のお金を貯めるのにサークルをやめればいいと言われるかもしれませんが。しかし、サークルは私にとって学業と同じくらい重要なものです。

自らの夢を賃金のせいで、諦めたくないです。自分がお金の面で厳しいだけではなく、両親にまで負担を強いることになってしまっている現状があるため、高知大学に入学するか迷っている人に、高知県はいいところだから皆も来てほしいと言える自信がありません。

しかし、私は高知県が好きだし、いいところだと思うので高知大学に来てほしいし、高知県で働く人も増えてほしいと思います。

今の状況では、私に居酒屋のアルバイトを進めてくれた先輩のように賃金についてごまかさなければ人が来なくなってしまうような状況だと思います。

そんなことがないように、高知県が東京都と比べてもいいところだ、生活しやすいところだと胸を張って言えるように最低賃金は引き上げられなければいけないなと思いました。お話聞いていただいてありがとうございました。

会 長

ありがとうございました。

次に、牧耕生（まき・こうせい）様から意見陳述をお願いします。

牧陳述人

県労働で書記長をしています牧です。よろしくお願いいたします。

私のほうからは、「高齢者の生活実態から見えてくる最低賃金引き上げの必要性について」お話をさせていただきたいと思います。

先日7月14日に高知大学の食堂前で102人に「時給どれくらい欲しいですか」というシール投票をしてもらったんですけど、そのうち100人が1,000円以上は欲しいと。一番上の方は1,500円以上でした。それだけ学生も欲しいと思っているということを付け加えます。

私のほうは、高齢者の方の家計簿調査を行ってきたので、その例を出しています。この方は73歳の女性でして、もともと教員でしたので、比較的年金が高めになっています。2か月に1回年金が出ますので、12月からいう形になっています。

収入としては比較的高い金額で、2か月で37万円ぐらい。

この方は、今の時点では働かずに年金で生活をしています。

しかし、このままでは蓄えの部分を含めてしんどいということで、働くことも視野に入れているということになっています。

この方、2019年の12月からの1年間というのは、結構、生活面では

厳しい生活をしています。基本的には、マイナスで、この1年間は、貯金を切り崩しています。

もともとは、理美容費で2か月か3か月に1回ぐらい髪を切りに行っていたんですけども、それもやめて、白髪染めをして、自分で髪を切るというような生活にもなっています。

非消費支出というところの中に保険代があるんですけども、それも解約や見直しをして、なんとか今の年金の範囲に納めています。

その結果、資料の2ページ以降では、収支がトントンという生活になっています。

2020年の12月から2021年の11月までは、残金計算したら2万円ぐらいのプラスなんですけども、その次の年は1年間通してちょっとマイナスになっています。3ページの家計簿から見てくることということで、この方は食費をかなり抑えるために節約をしているということです。

先ほど陳述した中村さんから、食費が自炊しても2万円ぐらいかかっているという話がありましたけども、少ない時には6,000円台ぐらいまでに抑えています。お米を親戚からもらったり、外食は一切しないというようなところで食費を抑えている。

住居費が一般に比べて少し高くなっている理由については、ご家族の方の荷物がたくさんあるということで、今は、大きめのところを借りて住んでいるということでした。今後は見直していかなければならないと話していました。

かなり、光熱費も抑えています。

電気節約のため、夜冷蔵庫のコンセント抜くとか、水道代節約のために水をためたり、電気・ガス・水道をかなり抑えて生活をしています。

交通費については高めです。車を持っているのでその維持費として、ガソリン代等でどうしてもかかってくるということです。

若い方と比べて、医療費がどうしても高くなるという話もされていました。

ご高齢ですので、周りでも亡くなる方も増えてきていることで、2019年あたりには重なって、冠婚葬祭費だけで3万円を超えていました。

私どもで最低生計費試算調査として、25歳単身者の生計費がどれぐらいかかるのかという調査をしましたので、そこの比較を4ページに載せています。対象の高齢者の方の、直近の月の比較というような形になっています。

生計費調査と比較すれば、大体25歳単身女性の75%ぐらいの合計金額で生活をしているというようなことになっています。

ただ、この方はどうしても一般的な年金の方から比べると、かなり高い年

金額となっています。

実際、年金の実態としては厚生年金が平均で146,000円、国保で50,000円となっていますので、もし146,000円だった場合、当然働かざるを得ない状況になってくるということです。

たとえば、生計費が一番かかった月が23万円弱ぐらい。その場合、月で83,000円ぐらい赤字になる。この分を働くとした時に、今の853円の場合には月で97時間。それを月20日で換算すると、一日当たり4.87時間ぐらい働かざるを得ないのかなと思っています。

全国のパートタイム労働者の平均が4.16時間になっていますので、70代の方が普通のパートタイム労働者の平均よりも働いてということは現実的にはなかなか難しいのかなと思っています。

今日安で39円の引き上げというのを出されていますので、892円なら4.65時間、時給1,000円なら4.15時間。最低賃金が上がればそれだけ労働時間が短くて済みます。

人手不足の問題もありますけども、地域経済であったり、高齢者健康寿命だとかの観点からも見てみたいと思います。

なかなか生活費のために働くということになったとしても、低い最低賃金のままでは、出費を抑えざるを得ないというのが現状です。

出費を抑えるということは、地域経済になかなかお金が回っていかないということです。最低賃金が高ければ、出費を抑えることなく消費に回せるといった部分でも地域経済を活性化できる。

また、出費を抑えるためには、どうしても食費、医療費、この方の場合には保険を切り崩したりもされていますし、実際食品を1万円以下に抑えるというような生活もされています。

最低賃金が低いままでは、高齢者が長時間働かざるを得ないという状況の中では、健康を害していくという面からでも最低賃金の引上げは必要ではないかと思っています。

長い視点で見た時には70歳以降働けなくなるということであれば、人材不足の面からもなかなか厳しいのではないかと考えています。

会 長 どうもありがとうございました。

ただ今の陳述の内容に関して、各委員からご質問はございませんでしょうか。

白山委員 73歳の女性の住居費は自宅ではなく、賃貸ですか。

牧陳述人 そうです。ゆくゆくは、県外とかにも出たいという思いがあって、賃貸と

のことです。

亡くなっている家族の荷物が捨てられないということもあって、ちょっと大きめのところをまだ借りているそうです。

沖田委員 73歳女性は、独身一人暮らしですか。

牧陳述人 そうです。

沖田委員 以前、生活するには2000万円の貯金が必要というニュースもありましたが、一般家庭でそんな大金はなかなか。この方は貯蓄の面はいかがですか。

牧陳述人 もともと教員ですので、それなりに貯蓄があったそうなんですが、一人暮らしなので、親戚や甥、姪にお金使ってあげたいと思って車を買ってあげたりして、今は貯蓄がほとんどないというような状況です。余裕があると思ってそういうことしたそうなんですけども、実際今は、かなり厳しいということをお話されていました。

沖田委員 私も将来、厳しい生活をしなきゃいけないと思って、身につまされる思いがしました。

大崎委員 電気・ガス・水道なんですけど、大学生の高知市の方は、3,000～6,000円くらいが平均だということでしたが、高齢者の方はかなり安いですが、同じ高知市の方でしょうか。

牧陳述人 高知市に住んでいます。

大崎委員 こんなに違いますか。

牧陳述人 エアコンも全くつけないですし、私も見せていただいたんですが、ちょっとびっくりする生活でかなり抑えています。

大崎委員 1,000円以下ですよ。

牧陳述人 はい。私もそんなことあり得るのかと思ったんですけども、抑えているということです。

大崎委員 一軒家ですよ。

牧陳述人 そうですね。
ガス・水道あたりは、基本料金が一定あるのかなと思います。

大崎委員 上下水道で2,000円ですか。

牧陳述人 そうのことだと思います。

大崎委員 平均的な方がどのくらいなのかわからないですが、一般的にはもう少し高いですよ。

牧陳述人 そうですね。

大崎委員 わかりました。ありがとうございます。

沖田委員 中村さんにお伺いします。高知大学を志望された理由はこういったところですか。今後もっと高知に人が来てもらいたいの、高知の魅力といえますか、参考にしたいと思います。

それともう1点、今高知大学の7割ぐらいが県外からの方ですが、就職で地元に戻られますか。

中村さんがこれから就職活動する上で、企業を選ぶ視点、どこに注目するかは、賃金なのか、労働環境なのか、どのあたり注目するののかの2点について教えていただきたいです。

中村陳述人 まず、1点目のなぜ高知大学を選んだのかということについてですが、私が受験をしていた期間、勉強をずっとしていると心が荒んでくる部分がありました。高知県に旅行で両親と遊びに来たことがありまして、その時に仁淀川などの美しい景色を見たり、おいしいものを食べたりしたことを思い出し、東京で息の詰まるような生活をするより、新しい環境で、しかも自然に豊かなところで過ごせたら、豊かな4年間になるのではないかと思つてのことです。

2点目は、高知県の企業の就職説明会に参加したのですが、お話を聞いて仕事内容は面白いと感じても、賃金を調べると、初任給が17~18万円。高くても20数万円というのを見ると、その金額で働くのは厳しいという思いはあります。

沖田委員 賃金に注目する、賃金を大事に考えるということですね。

中村陳述人 そうですね。仕事内容もなくはないですが、やっぱり賃金を考えずにはいられないです。

沖田委員 高知大学も、高知の自然の豊かさとか、美味しいものをPRして、どんどん人を呼んでもらいたいと思いました。ありがとうございました。

片山委員 中村さんにお伺いします。
先ほど、月の生活費が218,000円ぐらいとのことでしたが、これは学費は別ですか。

中村陳述人 学費も含めたすべての合計です。

片山委員 友達と比較しても、大体皆そんな感じですか。

中村陳述人 そうですね。
サークル費の2～3万円が少し高いくらいで、それを除いたらほかの学生と同じ水準になると思います。

片山委員 平均的なほうなんですね。

中村陳述人 はい。ただ、奨学金を借りている人も結構多いので、生活費に学費を含めるのかについては難しいですね。借金なので結局は払わなきゃいけないところですが。

会 長 それでは、以上で高知県労働組合連合会から申し出のあった意見陳述を終了いたします。

高知県最低賃金の改正審議に当たりましては、本日の意見を今後の審議の参考とさせていただきます。

なお、意見聴取については、本件以外に意見の提出はなかったことを申し添えます。

以上で本日の全員協議会を終了します。

[閉会] 午前9時36分